

# 東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10  
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

## 戦争法が参議院で採決強行

安倍自公政権は9月19日の未明、戦後最悪の違憲立法である戦争法案を、参議院本会議で採決を強行しました。

採決結果は、賛成148、反対90で、自民・公明は出席者全員が賛成、元気は反対1、次世代・改革は全員賛成、無所属は賛成2、反対2でした。

私たちは、6割を超す「今国会での成立に反対」という国民世論と空前の規模に広がった国民の運動に背いて、戦争法案の採決を強行した安倍自公政権に対して、怒りを込めて抗議します。

しかし、法案成立と同時に多くの団体が抗議や廃案をめざすことを表明し、成立後の24日には、戦争法廃止を迫る国会前大集会が雨の中で5千人が参加し、10月2日には、安倍政権NOの大行進が計画されるなど、運動が広がっています。

引き続き、戦争法廃止をめざして、たたかいを強化していきましょう。



## 戦争法強行に対する中央社保協の抗議談話

戦後最悪の違憲立法・安全保障関連法の強行に怒りを込めて抗議する

2015年9月19日

9月19日未明に、安全保障関連法（戦争法）が参議院で強行採決されました。戦闘地域での兵たん、武器使用の大幅拡大、集団的自衛権行使など、いくつもの点で憲法違反は明白です。憲法違反の法律は無効であり、違憲の法案を、国会で通すことなど認められません。

また、国民の6割以上が「今国会成立に反対」し、8割以上が「説明不足」としている法案を、国民の声を無視して数の力で強行することも許されません。

参議院安全保障特別委員会では、理事会での合意なしに突然質疑が打ち切られ、混乱の中で「採決」が強行されました。公聴会で出されたさまざまな意見に対しても、何の審議も行われていません。国会のルールを無視する乱暴な「強行採決」を認めるわけにはいきません。

「安全保障関連法（戦争法）」は、安倍首相の言う日本国民を守るためでなく、いつでもどこでも、地球規模でアメリカの戦争を支援するためのものです。

国民は、「戦争しない」と決めた憲法9条を捨てて、「戦争する国」を認めません。「戦争しない国」を守るという思いが、一人ひとりを動かし、空前の全国各地での反対行動や国会包囲行動・集会に広がっています。

数の力にものを言わせる「多数決主義」を許さず、政治の暴走をストップさせることが、民主主義をはじめ立憲主義・平和主義の更なる確立に必要です。

中央社保協は、社会保障と戦争は相いれない、社会保障は平和あってこそその思いを改めて強くし、憲法をいかに、平和でいのちが大切にされる社会の実現のために、いっそう社会保障拡充のたたかいを強化する決意です。

# 杉並社保協

9月26日、東京土建杉並支部会館で26人の参加で杉並社保協総会が開催されました。

総会に先立ち、東京社保協寺川慎二事務局長から、社会保障をめぐる情勢報告が行われました。

寺川氏は、まず国民皆保険制度の意義を原点から問いただし、民主党から引き継いだ自公政権が社会保障制度の根本理念を改変し、医療・介護などの改悪を指摘しているかの実例をあげて説明しました。

今、戦争法を強行可決した安倍内閣は、アメリカの「経済的徴兵制」が日本でも行われている警告と、政府が言う社会保障財源問題



の口車に乗らないように、財源は



大企業と富裕層の累進課税で賄うべきだという説明に、会場から納得の声が上がりました。

休憩後の総会では、年金減額裁判闘争と、高齢者生活実態に議論が湧きました。最後に、村田幸夫（東京土建杉並支部）代表幹事を再選して、無事総会を終了しました。

(杉並社保協 湯浅 幸二)

# 西東京社保協

西東京社保協は、9月9日に西東京市民会館で学習会を開催し、台風18号影響による悪天候でした。20人の方が参加しました。

講演は、東京社保協の寺川慎二事務局長が、「いつでも、どこでも、だれでも、安全・安心の医療・介護」と題して講演し、「自助」路線で給付を削減・負担増の社会保障改悪を詳しく報告され、国保の都道府県化、介護報酬の引き下げ、地域総合支援事業など、具体例を挙げながらの判りやすい講演

となりました。

社会保障の改悪は、複雑すぎて内容がよく判らないと言われていますが、講演を聞いて、モヤモヤしていた改悪の内幕がよく判ったと好評でした。また、もっと学習したいとの要望が出され、12月か1月に同じテーマで学習講演会を企画しています。

(事務局長 岡本 卓郎)

# 八王子社保協

八王子社保協も参加する「八王子の介護を良くする会」は、「会」としての介護事業所アンケート回収訪問行動を、各地域包括支援センター圏域ごとに9月14〜25日まで取り組み、全体で50人以上の調査員が参加しました。

訪問してみると、すでに休業・廃業した訪問介護事業所も複数あ



調査員の打ち合わせ風景

り、「廃業は時間の問題」「将来不安で、優秀なケアマネージャーが辞めてしまった」などの声や、「介護保険のサービスを受けられなくなる要支援の方のことが心配」などの声が寄せられました。

また、訪問を受けてから、FAX回答する介護事業所も多く、顔を合わせることで、地域の介護に関する課題を共有する第一歩を踏み出した感がありました。

# 無料なんでも相談会

9月27日、八王子労政会館で「無料なんでも相談会」を行い、当日は14人が相談に訪れました。中には、情報誌で相談会を知り、八王子市外から相談にみえた方もいました。

各分野の相談員が手分けして丁寧に対応、今回は、年金生活者、特に夫に先立たれた女性の年金生活に厳しさを増していることが感じられる相談会でした。また、永年勤めていた職場で、管理者が変わったとたんに、パワハラで職を失ったと労働相談に訪れた人も。

今回は、ピラ地域配布3千枚、宣伝カーも運行し、合計17件の相談となりました。

(八王子社保協ニュースより)

# 各地域・団体の取り組み

## 日本高齢者大会

第29回日本高齢者大会が、9月15・16の日程で和歌山県で行われ、全国からのべ5千人を超える参加者があり成功をおさめました。なお、東京からはのべ361人が参加し、大会成功にむけて奮闘しました。



大会初日は、七つの学習講座と17の分科会・シンポジウム、四つの移動分科会にわかれて交流を行い、2日目は、全体会で大会の基調報告と沖縄・福島からの取り組み報告。

記念講演は、安斎育朗氏（立命館大学名誉教授）から「戦後70年、日本の未来へのメッセージ」と題した元氣の出る講演が行われました。

おりしも、「明日にも戦争法案の強行採決か」という中で大会が開催され、大会参加者全体で「戦争法案は許さない」大会決議を確認しました。

なお、次回の第30回大会は東京で開催することが確認され、大会旗が和歌山から東京に引き継がれました。

第30回東京大会は、来年の8月28・29日の日程で、国際フォーラム及び大正大学で開催されることになりました。



大会旗を和歌山から引き継ぐ



## 東京高齢者のつどい

東京高齢者のつどい実行委員会は、11月16日（月）に「第27回東京高齢者のつどい」を杉並公会堂で開催すると発表しました。

「戦争する国にさせない、いのち輝く未来のために」を合言葉にしてつどいを開催し、記念講演は「世界の現場から見える希望ある未来」と題して、伊藤千尋さん（国際ジャーナリスト）が行います。また、団体・地域からの報告として、福祉のまちづくりや居場所のあるまちづくりなどの報告も行われます。参加費は1人500円です。各団体地域からの参加をお願いします。

## 地域医療を守る運動 全国交流集会

日時 11月28日(土)10時~16時半

会場 東京ビッグサイトTFTホール

## 憲法いかし、いのちを守る国民集会

日時 10月22日(木)13時~16時半

会場 日比谷野外音楽堂

# 第43回中央社保学校

別途申込書あり

## 10月15日(木)~17日(土) 横浜市「ワークピア横浜」

**参加費**  
 各日程1人1日につき 2,000円  
 3日間通して6,000円  
 ※昼食弁当(2日目のみ)  
 希望者に幹旋 お茶付 1,000円

### 初日 10月15日(木) 13:30~17:00

- 講演① 「沈みゆく大国アメリカからの警告～未来は私たちが選ぶ!～」  
講師 堤 未果氏(ジャーナリスト)
- 講演② 「戦後70年『沖縄問題』の考え方」  
講師 宮城 栄作氏(沖縄タイムス東京支社報道部長)

### 2日目 10月16日(金) 9:30~17:00

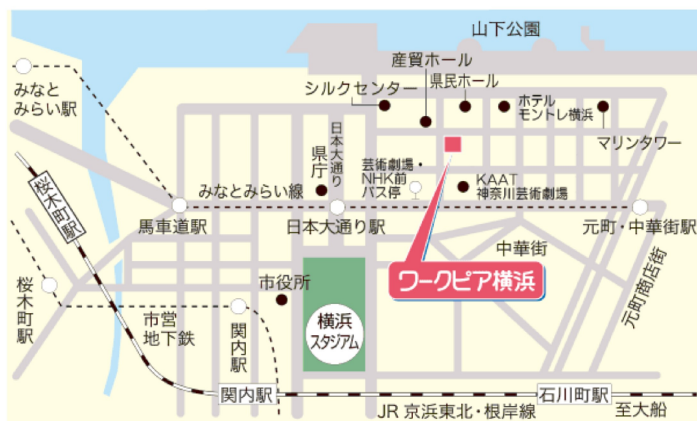
- 講演③ 「最低賃金裁判と社会保障」  
講師 住谷 和典氏(神奈川労連事務局長)
- 講演④ 「戦後70年・岐路に立つ日本の平和・憲法・社会保障」  
講師 渡辺 治氏(一橋大学名誉教授)

### シンポジウム

「社会保障解体を許すな!安全・安心の医療・介護の実現を」  
 基調講演 横山 壽一氏(金沢大学教授)  
 コーディネーター 岡崎 祐司氏(佛教大学教授)

### 3日目

①横須賀軍港めぐり 7:30~12:00 ②社会保障基礎講座 9:00~12:00  
 横浜駅西口天理ビル前集合 会場 建設労連2Fホール



申込締切日 10月8日

申込先 中央社保協  
 FAX 03-5808-5345  
 【振込先口座】 名義/中央社会保障推進協議会  
 ①中央労働金庫 荒川支店 普通 1144259  
 ②郵便振替 00180-3-155551

## 主催:中央社保協・同関東甲ブロック